

青少年交換来日生・派遣生 歓送会

2014-15年度
青少年交換委員会 委員長

山本 喬一

(大阪天満橋RC)

地区青少年交換委員会の今年度最後の行事として、来日生7名、派遣生6名の歓送会を6月13日にシティプラザ大阪で行いました。

青少年奉仕部門担当の岡部バスターガバナーをはじめ、このプログラムに関わっていただいた多くのロータリアン、ホストファミリーの皆様、またお世話になった受入高校の先生方など総勢で100名を超す参加者で盛大な会となりました。

派遣生は、昨年8月にプログラムに申し込んで以来、毎月1回のオリエンテーションで1年間の海外生活を無事に送れるように、プログラムの理解、語学学習、プレゼンテーション力を身につけるなどの準備を進めてきました。パーティではその成果をもとに多くの参加者の前で、プロジェクターを使って、練習してきた英語で自分の住む街や家族などの紹介をしてきました。

また、来日生は本年度10名を迎えましたが、母国での卒業式などのため3名が5月末に修了し帰国しましたので、この日は7名の参加となりました。昨年8月に来日した当時は日本語がたどたどしかった彼らですが、約10ヶ月ですっかり上達をして大阪弁や若

者言葉と標準語を使い分けられるまでに成長しました。来日生はパーティの余興として、日本語スピーチを交え日本の流行歌、テレビ主題歌、日本語とフランス語のシャンソンを披露して参加者を楽しませてくれました。

パーティの終盤には、来日生には、青少年プログラムの修了証書が授与されました。さらに、各ホストファミリーと受入高校にはプログラムへの協力に対して感謝状が贈呈されました。ホストファミリー、受入高校の先生方、本当に有り難うございました。

来日生は、6月末から7月中旬にかけて順次母国にかえりプログラムを終えます。彼等のみんなが本当に日本を好きになりロータリーやホストファミリーに感謝の言葉を残して帰っていく姿を見るのは、仕事量の多い委員会ですがやりがいを感じる瞬間でもあります。派遣生たちは8月にはそれぞれの派遣先に出発します。彼等が約1年後に一回り大きく頼もしくなって帰って来ることを期待しています。

この歓送会は、2660地区青少年交換学友(ROTEX)が企画運営してくれました。彼等もこの一年間プログラムの協力者として来日生、派遣候補生の世話をしてくれました。感謝申し上げます。

私は本年度でこの委員会を離れますが、この4年間の委員活動を通して国内、国外の多くのロータリアンと知り合うことが出来ました。青少年の交換だけではなくロータリアンの交流にも活かせるプログラムです。この青少年交換プログラムがますます盛んになることを願っています。

